

SNSの利用にあたって

校長 江渡 準 悦

先日の第2回学習参観日には、たくさんの保護者の方々にお越しいただき、誠にありがとうございました。(学級担任との『ことばのキャッチボール 杉の子3号より』いかがでしたでしょうか。)

今回は、授業参観を終えた方々の、学級懇談開始までの待ち時間をより充実させたいと考え、「大人向けの情報モラル教室」を開催いたしました。御兄弟の授業参観時間帯の関係で、このモラル教室にほとんど参加できない方がいらしたことにつきましては、大変申し訳ございませんでした。

さて、今回の情報モラル教室では、以下のことを改めて確認することができました。

- 1 世界保健機関 (WHO) が認定した、ゲームのやり過ぎで日常生活が困難になる「ゲーム障害」の実態を知る。
- 2 画像や動画は、一度ネット上に上げたら二度と消すことができない。上げる場合は相当な注意が必要。
- 3 深刻なネット・トラブルに遭ったら、十和田警察署生活安全課などに相談する。

学校では、国のGIGAスクール構想により配備された1人1台の学習者用PC(タブレット)や、高速ネットワーク環境などを活用した授業が、様々な教科で行われております。

これからの社会を生き抜く子供たちの可能性を広げる場所である学校が、時代に乗り遅れたり、あるいは、世界のICT活用状況から遅れたままではいけないとのことから、急速に配備されました。

授業では、子供たちが興味を持ったことを調べたり、写真や動画などで情報発信したり、友達どうしで共有したりすることで、創造性を育む学びにつながるような工夫をしております。そして、上記1~3にあるように、子供たちがICT機器を適切に且つ安全に使いこなすことができるよう、ネットリテラシー(活用能力)を育成していくことも重視しています。

一方、家庭では、子供が自分専用のスマートフォンやゲーム機に搭載された通信機能を使って、学校の仲間だけではなく、インターネット上で知り合った仲間とコミュニケーションを取っているといた事例も報告されています。

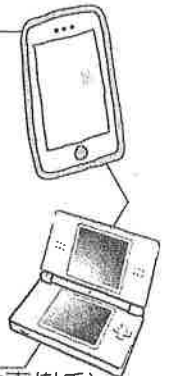
このような状況を踏まえ、子供たちにはネット・トラブルに巻き込まれることのないように、しっかりとした判断力と実践力を身に付けさせたいと考えております。ご家庭でも先日の情報モラル教室での内容を参考にされて、親子で一緒にSNS利用にあたっての約束事を決めてください。

SNSの利用が便利で安全なものとなるよう、よろしくお願ひします。

参考までに、NHKのEテレ『ウワサの保護者会』という番組で取り上げられていた内容をご紹介します。「スマホ」の文字を「ゲーム機」に置き換えて考えてみても、当てはまる項目がいくつかありますね。ご参照ください。



- ①スマホは「親が買って契約し、子供に貸している物」ということを忘れません。
- ②スマホの使用は夜()時までとします。
- ③スマホを使用・充電する場所は、リビングに限ります。
- ④食事中にスマホは使用しません。
- ⑤スマホをいじらない時間に、家族で楽しく過ごせることを考えましょう。
- ⑥スマホによるトラブルが生じたら、直ぐに親に相談します。
- ⑦ルールが守れないときには、()日間、親にスマホを返します。



↑ ※Eテレ『ウワサの保護者会』HPより転載 (写真は、教育評論家 尾木ママこと尾木直樹氏)

東地区民生委員・児童委員の方々の訪問がありました。

5月31日(月)に、市東地区民生委員・児童委員3名の方々の学校訪問があり、学校や子供たちの様子について情報提供をしました。

こちらの方々のお役目は、「児童・子育てに関すること」「生活不安」「家族の介護」「障がい者福祉」などに関する相談を受け付けているそうです。

相談者の立場に立って親身に相談に応じて下さるそうです。もちろん、相談の秘密は守られます。詳しく知りたい方は「市民児協事務局 ☎51-6749」へお問い合わせください。

私たちは
法律に定められて、
みなさまを支援
しています。



聖火リレーの応援をしました。



学校のオリンピックコーナー

6月11日(金)に全校児童で、十和田市で行われたオリンピック聖火リレーの応援を行いました。とは言っても、感染状況を鑑みて、WEBのライブ映像での観戦となりました。体育館、杉の子大ホール、教室などに分かれて、映像に映し出された聖火ランナーへ、配布になった団扇を打ち鳴らして、応援をしました。オリンピックの開催に関わって様々な報道がありますが、オリンピック競技そのものは、子供たちに夢を与える大きなイベントであることは間違いありません。

競技者たちのここまでの頑張りや苦勞、そして、メダルを目指して一心不乱に打ち込む姿は、子供たちに多くの感動を与えてくれます。

聖火リレーを観戦した子供たちからは、こんな感想がありました。

- ・車いすの人もがんばって聖火を運んで、すごいと思いました。
- ・私たちの十和田市で聖火リレーが行われるなんて、すごいと思いました。学校で観ることができてよかった。
- ・もっと近くで観たいと思いました。また十和田市でやってほしいです。
- ・コロナがはやっている中で、聖火リレーが開かれてよかった。聖火ランナーのリレーを、みんなで大喜びして観ました。

(上の写真の「オリンピックコーナー」には、なんと23年前の「長野冬季オリンピック」の際の聖火トーチも飾られています。)

いつもご協力いただき、ありがとうございます。

5月13日付文書「学校校地内への出入りについて(お願い)」でお知らせしました登校時間帯の「子供たちの安全」と「学校周辺の渋滞緩和」を目的とした、下図のルールへのご協力、誠にありがとうございます。これからもよろしくお願ひします。

朝7時～8時は、「右折自粛タイム(左折タイム)」としています。交通渋滞の発生は、ドライバーの気持ちをあせらせ事故がおこる危険性を高めます。

三小の児童と保護者の方を交通事故から守るために設定されたルールです。

